



第 92 回天皇杯・第 83 回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 大会概要

1. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
2. 主管 公益財団法人日本バスケットボール協会
3. 期日 2017 (平成 29) 年 1 月 2 日 (月・祝) ～9 日 (月・祝)
4. 会場 国立代々木競技場第 1 体育館、国立代々木競技場第 2 体育館
駒沢体育館、大田区総合体育館
5. 競技方法 トーナメント式優勝戦、3 位決定戦は行わない。
6. 参加チーム
- 男子：32 チーム
- ・B.LEAGUE から推薦された 12 チーム
 - ・全日本大学連盟から推薦された 8 チーム
 - ・全日本社会人選手権大会から推薦された上位 2 チーム
 - ・全国高等学校選手権大会から推薦された上位 1 チーム
 - ・地方ブロック協会から推薦された 9 チーム
- 女子：32 チーム
- ・(一社) 女子日本リーグ (WJBL) から推薦された 12 チーム
 - ・全日本大学連盟から推薦された 8 チーム
 - ・全日本社会人選手権大会から推薦された上位 2 チーム
 - ・全国高等学校選手権大会から推薦された上位 1 チーム
 - ・地方ブロック協会から推薦された 9 チーム
7. 推薦方法 下記推薦資格を有するものは、該当する大会から推薦するチームを決定し、11 月末日までに所定の書類にて参加チームを推薦すること。なお、地方ブロック推薦チームに変更がある場合は 12 月 1 日 (木) までに書面で申し出ること。
8. 参加資格
- (1) (公財) 日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
 - (2) (公財) 日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること。
 - (3) 推薦対象チームは、下記のそれぞれ該当する大会に参加しているチームとする。

推薦資格を有する者	対象大会
B.LEAGUE	B.LEAGUE (2016-17 シーズン)
(一社) 女子日本リーグ (WJBL)	第 18 回Wリーグ
全日本大学連盟	第 68 回全日本大学選手権大会
全日本社会人選手権大会	第 12 回全日本社会人選手権大会
全国高等学校選手権大会	第 69 回全国高等学校選手権大会
地方ブロック協会	各地方ブロック協会 (全日本総合選手権大会 予選)



第 92 回天皇杯・第 83 回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 大会概要

8. 参加資格
- (4) 選手は上記対象大会の推薦チームに所属する選手を対象とし、エントリー期限までに対象大会の推薦チームに競技者登録及びエントリーされた選手であること。
- (5) ベンチで指揮するものは、JBA 公認 D 級コーチ以上であること。
- (6) 外国籍選手（基本規程による）の出場はオンザコートワンとする。
但し、B.LEAGUE 所属クラブ同士の対戦となった場合には、B1 リーグ オンザコートルールを採用する。
<B1 リーグ オンザコートルール>
各ピリオドにおける申請数は 2 名以内とし、第 1～第 4 ピリオドまでの合計数は 6 名以内とする。帰化選手は当該申請数にかかわらず各ピリオドにおいてプレイできるが、外国籍選手 2 名と同時にプレイすることはできないものとする。
- ・B1 オンザコートルールは、試合ごとに各クラブが設定する。（事前申請制）
 - ・各クラブの帰化選手の登録数は、1 名以内
 - ・各クラブの外国籍選手および帰化選手の登録数は、合計 3 名以内
 - ・帰化選手の出場については、下記のとおり
 - ・オンザコート 0 の時間帯：帰化選手の出場可
 - ・オンザコート 1 の時間帯：外国籍選手 1 名以内と帰化選手 1 名以内
 - ・オンザコート 2 の時間帯：外国籍選手と帰化選手を合わせて 2 名以内
- (7) 1 チームについてスタッフ 8 名以内、選手 16 名以内の計 24 名以内とする。
9. 申込方法及び期日
- 推薦されたチームは TeamJBA を通じて参加申込およびエントリー手続きを行うものとし、必要事項を記入の上、チーム集合写真（カラー／ユニフォーム着用）、個人写真、広報アンケート、参加料 30,000 円を添え、12 月 1 日（木）までに下記宛申し込むこと。
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル 6 階
公益財団法人日本バスケットボール協会 オールジャパン実施委員会 宛
10. 組合せ
- 平成 28 年 12 月 2 日（金）実施予定
※日本バスケットボール協会による責任抽選とし、決定次第、各団体及び参加チームに通知する。
11. 競技規則
- 「2015～バスケットボール競技規則（Official Basketball Rules2014）」による。また、着用ユニフォームに関してもこれに準じ、詳細はユニフォーム規程を遵守すること。
12. ユニフォーム
及び身につけるもの
- (1) 原則として組合せ番号の若いチームを淡色とするが、2 回戦以降は対戦する両チームの話し合いの上で決めてよい。
- (2) 各チームは濃色・淡色（白色）の各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。
- (3) そのほか身につけるものは競技規則に準ずるが、アンダーガーマントの着用は別途定める着用に関する規定に準ずるものとする。
13. 使用球
- JBA検定球の男子：モルテン GL7X、女子：モルテン GL6Xを使用する。
14. ベンチ
- 組合せ番号の若いチームがテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。